

令和4年度 第8回
栃木東部地域会議 会議録

令和5年1月26日(木)
栃木市国府公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

会 議 録

会議の名称	令和4年度第8回栃木東部地域会議
開催日時	令和5年1月26日(木) 19時 開会 19時50分 閉会
開催場所	国府公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">——開会——</p> <p>2 会長あいさつ</p>
	<p>3 議事</p> <p>栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、柏崎会長による議事進行。 <本日の出席委員数の報告> 本日の出席委員10名(委員総数16名) 過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立</p> <p>(1) 地域未来ビジョンの策定について</p> <p><説明></p> <p>事務局 ・資料1-1に基づき説明。前回会議での意見を受け、修正及び追記した箇所等を説明。資料1-2に基づき説明。</p> <p>A 委員 ・Ⅲ.地域の課題②は私が提言した内容だが、文化財の「PRが不足している」ではなく、「活用が問題」なので修正願いたい。また、文体として、「必要」や「必要である」など表記を統一した方が良い。</p> <p>B 委員 ・Ⅱ.地域の魅力について、「都市計画道路が開発中であり、沿線を中心に～発展」とあるが、私としては東武宇都宮線の駅の沿線とした方が良いのか。都市計画道路を中心に発展というのは、私としてはあまりしていない。</p> <p>事務局 ・昨年検討頂いた市総合計画への意見などであったように、市の色々な計画は駅を中心に発展すると描かれていた。しかし、交通体系が車中心の栃木市に</p>

	<p>おいては、従来の計画であるような、駅を中心としたまちづくりを行うよりも、幹線道路などを中心に行うべきだという意見を受けている事から、このような記載をしている。</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッチコピーについて、案2「～安全で定住できる～」は、「安全に～」「安全な～」の方が適切ではないか。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・II.地域の魅力で、関東ふれあいの道「麦笛のみち」を記載するのであれば、「風土記のみち」も触れてほしい。また、II.III.とも幹線道路の沿線を中心に開発・発展とあるが、大宮地区ばかりが発展するような記述になるので、焦点が絞りにくくなる感じはするが、国府地区の発展についても鉄道沿線なども入れてほしい。V.事業イメージについては、ここに記載されると、今後具体化される予定はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度で現委員の任期が終了する。新年度から令和5～6年度が任期の新しい委員を迎えて始まる。地域未来ビジョンを活用して、地域にはこのような課題や魅力があって、このような未来の姿を求めている、そのためにはこのような事業イメージが良いのではと示して、次の委員には地域予算や実働組織での事業を考える手助けにしてもらえればと思う。次の委員にはこれをベースに事業を検討してもらえれば良いというものである。今まで委員が変わる度に、ゼロから地域の課題を抽出するところから始まっていたが、これまで4期続けてきた中で、課題であったと認識しているので、引き続き地域の課題を次に繋いでいくというものである。地域未来ビジョンは市総合計画の下位計画として位置付けている。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・II.地域の魅力で、松尾芭蕉の紹介があるが、奥の細道の旅で歌ったとされる「糸遊に結びつきたる煙かな」という有名な句を掲載してはどうか。大神神社から癸生の方を見て、米を炊く煙を歌った句だと言われている。魅力がより具体的に伝わるのではないか。
E 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・III.地域の課題③で幹線道路沿いの開発が、市街化調整区域だから大規模開発が難しいとしているが、市はどのように考えているのか。
F 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市都市計画課から聞いた話では、栃木小山都賀線と小金井街道が交差する以南については、このままでは何の発展も見込めないの、道路が開通したら用途地域変更などを考えますとの話があった。資料1-2にある多世代まちづくり意見交換会に出席したが、調整区域の開発について、農地法の適用などを考えるべきだと提言してきた。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の会議でいくつか意見があった事項について、事務局で再考して、次回会議で再検討するのとしたいが良いか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最後にIV. 未来の姿のキャッチコピーについてご意見願いたい。前回会議で良い評価があった案を基に事務局案をとの事でしたが、元案に他の言葉を足したりすると、クドくなったりしてしまい、良い案が浮かばなかった。
C 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・案2の方が具体的に良いように思う。 ・栃木中央地域、栃木西部地域のキャッチコピー案を紹介。 「いきいき」「わくわく」などのフレーズが目立ち、何となく似てしまう。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今日は欠席者も多いので、次回会議の案内に同封してアンケートを取り、結

果を次回会議で報告し、最終決定したいが良いか。

4 その他

- ・ 次回の開催予定について

第9回会議は、2月24日（金）午後7時から大宮公民館で開催する。
当初予定から変更になっており、金曜日開催となる。

- ・ 栃木市公民館教養講座兼地域づくり学習会 12月26日開催

【「重症コロナを語る」命を守り抜ける、まち創り】と題して開催した。
講演がケーブルテレビ「情報ワイド」で1月30日から1週間放送される。

5 閉会

——閉会——

(会議終了時刻 午後7時50分)

別紙1 出席者及び事務局

〈出席者（委員）〉

会 長	柏崎 桂二	副会長	出井 康夫
委 員	赤間 シズ子	委 員	大木 泰正
委 員	大橋 哲夫	委 員	大武 真一
委 員	古山 美代子	委 員	島田 研
委 員	内藤 實	委 員	松崎 文子

〈欠席者（委員）〉

委 員	長 昌光	委 員	藤本 和夫
委 員	中村 康子	委 員	穂坂 孝司
委 員	増山 由美	委 員	森川 剛

〈事務局〉

中嶋 美佐	(栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長)
宇津野 薫朗	(大宮公民館館長)
田中 賢太	(国府公民館主査)

別紙2 会議事項及び配付資料一覧

<会議事項>

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 地域未来ビジョンの策定について

4 その他

- ・ 次回の開催予定について
- ・ 栃木市公民館教養講座兼地域づくり学習会 12月26日開催

5 閉 会

<配付資料一覧>

- ・ 栃木東部地域未来ビジョン（案）
- ・ 令和4年度懇談会 参加者アンケート

資料1-1

別紙1-2